

2021年10月24日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうぎょうかい</sup>久宝教会

第64巻第30号(通算3258号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

<sup>かみさま</sup>神様がすべての人<sup>ひと</sup>と共<sup>とも</sup>におられる  
ことを証<sup>あかし</sup>ししていく教会<sup>きょうかい</sup>



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙 5:5)



## しゅうかくかんしゃれいはい 収獲感謝礼拝 こうたんぜん だい しゅじつれいはい (降誕前 第9主日礼拝)



《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う (もくとう) 前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん 招きの詞 詩編 19編 2-5a節

ほうけん かんしゃ いの 奉献と感謝のお祈り

さんび か ばん 賛美歌 21-6番「つくりぬしを賛美します」(©教団出版局)

りたニー (交唱) と賛美

『こどもさんびか改訂版』102番「わたしたちのたべるもの」(©出版局)

せい しょ そうせい き 聖 書 創世記 2章 4b-9, 15-17節

メッセージ 「天地の恵みによって生かされて」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん ひと はたけ たがや 賛美歌 21-386番「人は畑をよく耕し」(©出版局)

しゅ いの ばん てん わたし ちち 主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

は け ん ばん かみ めぐ う 派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし 祝 福 牛田 匡 牧師

こう そ う ばん 後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こ ぐ (ページを参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

招きの詞 詩編 19 編 2-5a 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

2 天は神の栄光を語り  
大空は御手の業を告げる。  
3 昼は昼に言葉を伝え  
夜は夜に知識を送る。  
4 語ることもなく、言葉もなく  
その声は聞こえない。  
5a その声は全地に  
その言葉は世界の果てにまで及んだ。



(脚注 a: LXX などによる。ヘブル語原典では「彼らの測り縄」)

奉献と感謝のお祈り

神さま、あなたは私たちが生きるために必要なものを、すべて与えてくださる  
恵みの神です。あなたのみ名を賛美します。あなたへの深い感謝の思いを込めて、  
私たちは今、秋の収穫物をみ前に捧げます。どうか清めてお受けください。  
アーメン

リタニー (交唱)

司式者 天地の造り主である神さまは、私たちに、貴い恵みの贈り物。美しい  
大地を与えて下さいました。その約束の大地は、分かち合いの大地、神  
さまの強いみ手に導かれた土地です。

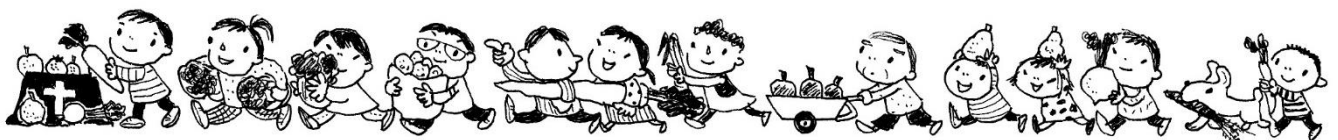
答唱 『こどもさんびか改訂版』 102 番「わたしたちのたべるもの」 1 節

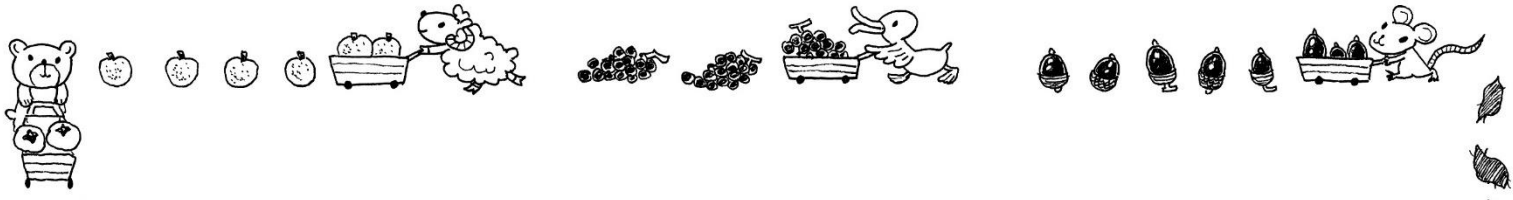
司式者 しかし、むさぼりの心が正義を踏みにじり、貧しい人々の大地を取り  
上げました。喜びの歌声は涙に変わりはて、緑の大地は灰色に変わりました。

答唱 『こどもさんびか改訂版』 102 番「わたしたちのたべるもの」 2 節

司式者 種まく者が飢え、刈り取る者がやせ、つむぐ者がふるえ、むさぼる者  
が富むのです。ためいきの大地を、神さまは見過ごしにはなりません。  
この大地すべては、みんなの持ち物だからです。

答唱 『こどもさんびか改訂版』 102 番「わたしたちのたべるもの」 3 節



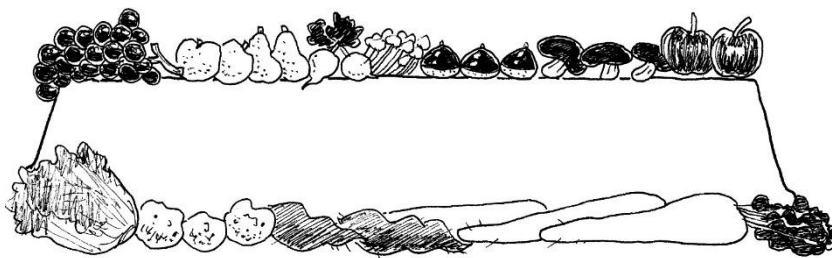


聖書 創世記 2章 4b-9, 15-17節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

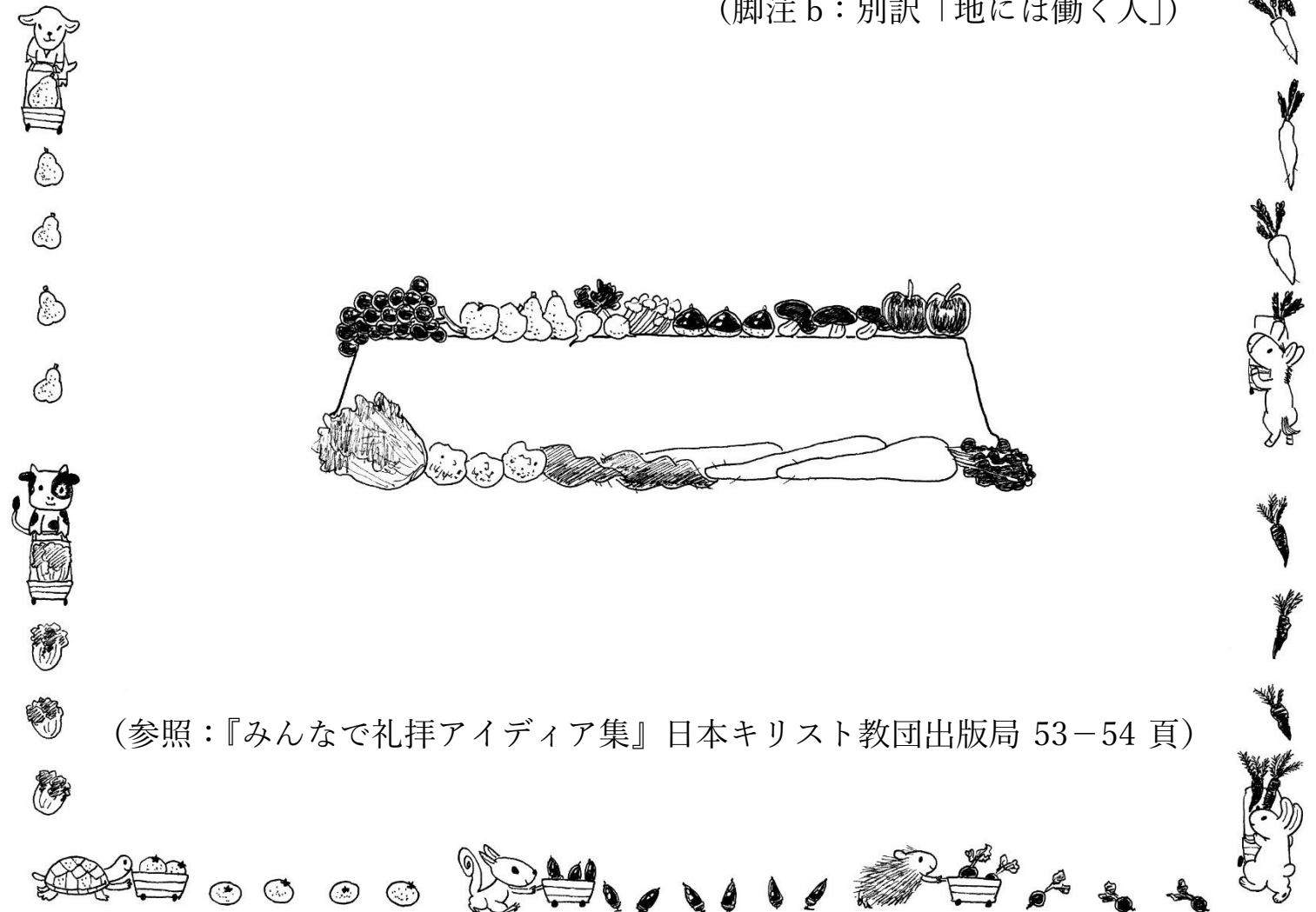
4b 神である主が地と天を造られたとき、<sup>5</sup> 地にはまだ野の<sup>かんぼく</sup>灌木もなく、野の草もまだ生えていなかった。神である主が地上に雨を降らせず、<sup>b</sup> 土を<sup>たがや</sup>耕す人もいなかったからである。<sup>6</sup> しかし、水が地下から湧き上がり、土の<sup>おもて</sup>面をすべて潤した。<sup>7</sup> 神である主は、土の<sup>ちり</sup>塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹き込まれた。人はこうして生きる者となった。<sup>8</sup> 神である主は、東の方のエデンに<sup>その</sup>園を設け、形づくった人をそこに置かれた。<sup>9</sup> 神である主は、見るからに好ましく、食べるのに良さそうなあらゆる木を地から<sup>は</sup>生えさせ、<sup>その</sup>園の中央には、命の木と善悪の知識の木を<sup>は</sup>生えさせた。

<sup>15</sup> 神である主は、エデンの<sup>その</sup>園に人を連れて来て、そこに住ませた。そこを<sup>たがや</sup>耕し、守るためであった。<sup>16</sup> 神である主は、人に命じられた。「<sup>その</sup>園のどの木からでも取って食べなさい。<sup>17</sup> ただ、善悪の知識の木からは、取って食べてはいけない。取って食べると必ず死ぬことになる。」

(脚注 b：別訳「地には働く人」)



(参照：『みんなで礼拝アイデア集』日本キリスト教団出版局 53-54 頁)



## 《先週のメッセージより》10月17日 聖霊降臨節第22主日礼拝

「神（非）対応」

岡嶋 千宙 伝道師

聖書：ヨブ記 23章 1-9、16-17 節

"Bans Off Our Bodies"（わたしたちの身体を規制対象とするな！）

三週間前の土曜日、中絶規制に反対する集会がアメリカ各地で行われました。その集会に先立つ9月30日、アメリカ議会で委員会が開催され、牧師でもあり議員でもある Cori Bush さんが、若い頃にレイプの被害に遭い中絶を選択した経験を踏まえて次のように語りました。「これまでに中絶を選択し、これから選択しようとしているすべての黒人の女性たちと少女たちへ。恥ずべきことは何もありません。わたしたちの住む社会が、わたしたちの愛と正義とを法律に反映させることに失敗したのです。だから、わたしたちは、より良いものを受けとるべきなのです。だから、わたしたちは望むのです。わたしたちにはその価値があるのです」

自分の意思に反して、自分ではないところに起因する何かしらの力によって、生き方、価値、存在を左右されていくことへの怒り。ヨブが三人の友人たちに向けた怒りも、そのような怒りでした。宗教・民族の伝統、あるいは伝統に基づく社会通念。具体的な個々人ではなく、平均化された人間が良しとするであろう宗教的・信仰的な「正しさ」を掲げて、ヨブを罪人とみなし、ヨブ自身には全く見に覚えのない悪い行い／罪を悔い改めよ、と迫る友人たち。そこには、今ここにある、ヨブ個人の経験、痛み、苦しみ、思い、が入り込む余地はありません。だから、ヨブは怒った。ですが、ヨブの怒りは、翻って、ヨブ自身にも向けられています。さらには、ヨブ記を受け取り解釈するわたしたちを含めた後代の人々に対しても向けられうるものであることを忘れてはなりません。

教会が、人権侵害を助長する場、抑圧を肯定する場、差別を産み出す場になってはいないでしょうか。「信仰の正しさ・一致・純粹さ」が高らかに語られ、家父長的・家族主義的な思想と相まって、差別の構造が二重にも三重にも張り巡らされているのだとしたら。被害者が声をあげることができず、加害者が語る声だけが響く環境になっているのだとしたら。個人の痛み、うめき、苦しみが、なきものにされてしまわないように。神という名をかりて、信仰的正しさを掲げて、家族の純粹さを名目にして、わたしたちの身体を、思いを、感情を、経験を、縛り付ける力が蔓延ることのないように。わたしの怒り、あなたの怒り、あの人々の怒り。わたしたちは、強制される不利益に対して、怒りをあらわにし、思いを共にあわせていく必要があるでしょう。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 10月17日 聖霊降臨節第22主日礼拝  
 礼拝出席 大人5名 中継動画再生数 12回  
 献金 大人5,000円 感謝  
 聖書を読む会(創世記33章) 参加者3名



◎次週 2021年10月31日(日) 宗教改革記念日(降誕前第8主日) 礼拝  
 招きの詞 詩編 51編 3節  
 聖書 創世記 4章 1-16節  
 メッセージ 「どうして顔を伏せるのか」 牛田匡牧師  
 賛美歌 492番(©讚美歌委)、377番(©讚美歌委)、410番(©賛美歌改訂委)  
 礼拝はインターネットで中継いたします。礼拝の中で誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・本日「収穫感謝礼拝」として、お献げ頂いたお米やお野菜、果物などの収穫物は、釜ヶ崎支援のため、いこい食堂に献品致します。なお礼拝後には「おにぎり作り」も行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「緊急事態措置」は、9月30日で解除されましたが、ウイルスが存在しなくなったわけではありません。これまで通りご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療崩壊をさせないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただいて、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・次週10月31日(日)15時~17時、河内地区の有志教会壮年会がオンラインにて開催されます。昨年からのコロナ禍の中、河内地区の6教会(枚岡教会・小阪教会・八尾教会・八尾東教会・住道一粒教会・久宝教会)の交わりも休止していましたが、今回は初めての試みとしてオンラインで各教会をつないでの開催となります。開会礼拝は枚岡教会・浅見牧師です。主にはコロナ禍での各教会の取り組み、現状報告を聞き合います。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
10/31	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	誕生者祝福式 (河内地区壮年会 15時~ オンライン開催)
11/7		牛田牧師	(愛児祝福月間) 召天者記念礼拝 ユーカリスト・教会を考える会
11/14		水谷牧師	(愛児祝福月間)(障がい者週間11/14~20) (王寺墓地・墓前礼拝14時~ 司式・牛田牧師) (第二好意の庭・大阪好意の庭 永眠者記念礼拝15時~)
11/21		岡嶋伝道師	(愛児祝福月間)

